

総合交通対策調査特別委員会 報告資料

令和8年4月20日

報告事項件名	頁
(1) 日暮里・舎人ライナーにおけるバスを活用した混雑緩和の取組みについて・・・	2
(2) 有楽町線（地下鉄8号線）の整備促進に向けた取組み状況について・・・・・・	5
(3) 公共交通の自動運転サービスの導入に向けた取組み状況について・・・・・・	7
(4) 常東地区「チョイソコ×せんじゅ」の取組み状況等について・・・・・・	14
(5) 花畑地区「花畑ぐるりん」の取組み状況等について・・・・・・	17

(都市建設部)

総合交通対策調査特別委員会報告資料

令和8年4月20日

件名	日暮里・舎人ライナーにおけるバスを活用した混雑緩和の取組みについて																																																																						
所管部課名	交通対策担当部新たな交通担当課 都市建設部交通対策課																																																																						
内容	<p>東京都交通局と連携している日暮里・舎人ライナーのバスを活用した実証実験について、現在の状況を以下のとおり報告する。</p> <p>1 実証実験期間・利用申請状況 令和7年12月22日（月）から令和8年3月27日（金）までの平日61日間（利用申請357人 令和8年3月13日受付終了時点）</p> <p>2 利用状況 令和7年12月22日（実験開始）から令和8年3月27日までの平日61日間の延べ利用者数 3,317人（1日平均54人） ＜バス乗車人数（1日あたり平均）＞ (人)</p> <table border="1" data-bbox="481 1003 1321 1664"> <thead> <tr> <th>期間</th> <th>1便</th> <th>2便</th> <th>3便</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>12/22～12/26</td><td>19</td><td>22</td><td>17</td><td>59/135</td></tr> <tr><td>1/5～1/9</td><td>16</td><td>25</td><td>13</td><td>54/135</td></tr> <tr><td>1/13～1/16</td><td>17</td><td>24</td><td>14</td><td>54/135</td></tr> <tr><td>1/19～1/23</td><td>22</td><td>26</td><td>15</td><td>63/135</td></tr> <tr><td>1/26～1/30</td><td>18</td><td>27</td><td>13</td><td>59/135</td></tr> <tr><td>2/2～2/6</td><td>17</td><td>28</td><td>15</td><td>60/135</td></tr> <tr><td>2/9～2/13</td><td>18</td><td>23</td><td>17</td><td>58/135</td></tr> <tr><td>2/16～2/20</td><td>16</td><td>24</td><td>12</td><td>51/135</td></tr> <tr><td>2/24～2/27</td><td>15</td><td>27</td><td>11</td><td>53/135</td></tr> <tr><td>3/2～3/6</td><td>15</td><td>22</td><td>14</td><td>51/135</td></tr> <tr><td>3/9～3/13</td><td>14</td><td>21</td><td>13</td><td>48/135</td></tr> <tr><td>3/16～3/19</td><td>14</td><td>21</td><td>15</td><td>50/135</td></tr> <tr><td>3/23～3/27</td><td>11</td><td>22</td><td>12</td><td>46/135</td></tr> </tbody> </table> <p>※ バス1台の定員は45名程度。1日3便のため1日あたりの乗車可能人数は最大で約135名 ※ 四捨五入により端数処理しているため、合計と各値の計は一致しない場合あり</p> <p>3 アンケートについて (1) 乗車時アンケート ア 目的 実際に乗車した方の意見を聴取し、実証実験の効果検証に役立て</p>	期間	1便	2便	3便	合計	12/22～12/26	19	22	17	59/135	1/5～1/9	16	25	13	54/135	1/13～1/16	17	24	14	54/135	1/19～1/23	22	26	15	63/135	1/26～1/30	18	27	13	59/135	2/2～2/6	17	28	15	60/135	2/9～2/13	18	23	17	58/135	2/16～2/20	16	24	12	51/135	2/24～2/27	15	27	11	53/135	3/2～3/6	15	22	14	51/135	3/9～3/13	14	21	13	48/135	3/16～3/19	14	21	15	50/135	3/23～3/27	11	22	12	46/135
期間	1便	2便	3便	合計																																																																			
12/22～12/26	19	22	17	59/135																																																																			
1/5～1/9	16	25	13	54/135																																																																			
1/13～1/16	17	24	14	54/135																																																																			
1/19～1/23	22	26	15	63/135																																																																			
1/26～1/30	18	27	13	59/135																																																																			
2/2～2/6	17	28	15	60/135																																																																			
2/9～2/13	18	23	17	58/135																																																																			
2/16～2/20	16	24	12	51/135																																																																			
2/24～2/27	15	27	11	53/135																																																																			
3/2～3/6	15	22	14	51/135																																																																			
3/9～3/13	14	21	13	48/135																																																																			
3/16～3/19	14	21	15	50/135																																																																			
3/23～3/27	11	22	12	46/135																																																																			

るため

イ 対象者

実証実験バスの利用者（乗車の都度回答を依頼）

ウ 方法

オンラインで回答

エ 時期

12月22日（月）～3月27日（金）

(2) 申込をしていない方へのアンケートの実施

ア 目的

バスを活用した実証実験に申し込みをしていない方からも意見を聴取し、今後の方針検討に役立てるため

イ 対象者

(ア) 平日朝の混雑時間帯に、日暮里・舎人ライナーにご乗車していただいている方

(イ) バスを活用した実証実験に申し込みをしていない方

ウ 方法

オンライン並びに沿線の区営自転車駐車場の回収ボックスで回答

エ 時期

3月23日（月）～3月31日（火）

(3) 終了時アンケート

ア 目的

バスを活用した実証実験の効果検証に役立てるため

イ 対象者

バスを活用した実証実験に申し込まれた方（一度もバスに乗車しなかった方も対象）

ウ 方法

オンライン並びに郵送で回答

エ 時期

3月27日（金）～4月10日（金）

4 効果検証について

(1) 効果検証の観点

本事業の終了に伴い、上記アンケート結果を踏まえ以下の観点に基づき効果検証を行っていく。

ア 日暮里・舎人ライナーの混雑緩和策としての有用性

イ 日暮里・舎人ライナー利用者（実証実験バスを利用していない方を含む）からの声

ウ 本事業の運営に関する事項

(2) アンケートの実施

利用者に3種類のアンケート（申請時・乗車時・終了時）を実施したほか、申込をしていない方へもアンケートを実施した。今後、効果検証に活用する。

5 今後の方針

乗車人数の状況などを踏まえ、混雑緩和策としての有用性や、日暮里・舎人ライナー利用者の声から効果検証していくとともに、その内容をもって今後の方向性を決定する。

総合交通対策調査特別委員会報告資料

令和8年4月20日

件名	有楽町線（地下鉄8号線）の整備促進に向けた取組み状況について
所管部課名	交通対策担当部新たな交通担当課 都市建設部交通対策課
内容	<p>1 第39回東京直結鉄道建設・誘致促進大会（総決起大会）について 令和5年4月に足立区も加入した八潮市以北の11の自治体で構成される地下鉄8号線建設促進並びに誘致期成同盟会による総決起大会が開催された。</p> <p>(1) 日 程 令和8年2月22日（日） (2) 場 所 野田市駅前暫定広場 (3) 足立区出席者 工藤副区長、議長、地元町会自治会（計16名） (4) 主な内容 ア 開会宣言 イ 主催者挨拶 ウ 来賓祝辞 エ 大会宣言 (5) 開催状況</p>  <p>2 葛西用水さくら通り流し踊りでのPR活動について 郷土博物館で開催された葛西用水さくら通り流し踊りにて、地下鉄8号線区内延伸に関するPR活動を実施したので報告する。</p> <p>(1) 日 程 令和8年3月29日（日） (2) 場 所 郷土博物館、葛西用水親水水路</p>

(3) 主な内容

ア 葛西用水さくら通り「流し踊り」

(4) 活動状況



総合交通対策調査特別委員会報告資料

令和8年4月20日

件名	公共交通の自動運転サービスの導入に向けた取組み状況について
所管部課名	交通対策担当部新たな交通担当課 都市建設部交通対策課
内容	<p>令和8年度に予定している自動運転バス実証実験の運行計画（案）、運賃設定の決定方法及び国からの支援体制について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 運行計画（案）</p> <p>(1) 運行ルート 西新井駅東口 ⇄ 六町駅（別紙1参照 P10）</p> <p>(2) 運行ルート選定理由</p> <p>ア 道路環境、交通環境及び通信環境調査結果から比較検討のうえ、自動運転車両が運行困難な区間が無く、早期のレベル4自動運転（ドライバーレス）の実現が見込める。</p> <p>イ 自動走行時は着座が必要となり、運転士及び補助人員を除いた着座定員12名程度に適した利用者需要（旧はるかぜ7号の令和5年度実績1便あたり9.9人）がある。</p> <p>ウ 今後の他路線への展開を見据え、区を中心部かつ主要駅に接続し、国道4号等の主要道路を跨いで運行することで、多くの区民の目に入り、自動運転技術の社会受容性（技術が社会に受け入れられ、安心して使われる状態）の向上が見込める。</p> <p>(3) 運行曜日・時間帯 月曜から金曜の平日 午前8時から午後6時の時間帯</p> <p>(4) 運行本数 片道4～5本／日（往復8本～10本／日）</p> <p>(5) 運行予定時期 秋頃 試験走行開始 冬頃 実証実験開始（運賃を収受して一般客が乗車）</p> <p>(6) 運賃設定 大人230円小人120円（ICも同額）、シルバーパス利用可 障がい者割引等その他は日立自動車交通が運行するはるかぜと同様 実証期間中は通勤・通学定期券の発行はしない</p> <p>(7) 運賃設定理由</p> <p>ア 周辺のバス路線を運行する他の民間バス事業者の経営を圧迫しないよう、運賃設定を合わせていく必要がある。</p> <p>イ 自動運転バスの事業継続性を検証するため、実証実験段階から本格運行を見据えてビジネスモデルを確立していく必要がある。</p>

ウ 東京都自動運転サービスの実現に向けた事業費補助金の補助要件として有償運行する必要がある。

2 運行計画の決定方法について

道路運送法に基づき、足立区地域公共交通活性化協議会の分科会において運行計画及び運賃設定を決定する。

(1) 地域公共交通分科会

ア 概要

運行ルート、運行曜日・時間帯、運行ダイヤ、運行開始時期等の運賃設定以外の運行計画を協議し、決定する。

イ 分科会委員（案）

学識経験者、地域住民の代表者、関係公共交通事業者、道路管理者、交通管理者、関係行政機関、足立区

ウ 開催予定時期

令和8年5月下旬～6月上旬頃

(2) 運賃分科会

ア 概要

運賃設定を決定する。独占禁止法に抵触しないよう、最低限の委員で協議する必要がある。

イ 分科会委員（案）

地域住民の代表者、運賃設定を行う交通事業者、国土交通省関東運輸局、足立区

ウ 開催予定時期

地域公共交通分科会よりも前の日程、または同日開催を予定

3 運賃設定の意見募集について

道路運送法の協議運賃制度に基づき、区民、利用者その他利害関係者の意見を反映するため、運行計画（案）を公表のうえ、運賃設定についての意見募集を実施する。

(1) 意見募集期間

令和8年4月21日（火）～5月20日（水）（予定）

※ 4月20日（月）の総合交通対策調査特別委員会で報告したのちに区ホームページで意見募集を開始

(2) 受付方法

オンライン申請システム、区ホームページお問い合わせフォーム、電話、FAX、メール、郵送、交通対策課窓口

4 内閣府「未来技術社会実装事業」への採択について（別紙2参照 P11～13）

内閣府地方創生推進事務局が実施する未来技術社会実装事業に当区の

自動運転バス事業が採択されたため報告する。

(1) 概要

AI、IoTや自動運転、ドローン等の未来技術を活用した地域課題の解決に向け、先導性と横展開可能性等に優れた自治体の取組みについて、関係府省庁による総合的な支援を行う事業（伴走型支援）

(2) 採択日

令和8年3月23日

(3) 採択事業名

「持続可能な公共交通を実現する未来都市・あだち」へ向けた自動運転実装事業

(4) 提供される支援内容

関係府省庁の構成員（うち1名は現地支援責任者）による地域実装協議会（当区の場合は足立区地域公共交通活性化協議会が兼ねる）を通じた総合的な支援

(5) 支援期間

令和8年度から令和10年度までの3年間（2年まで延長可能）

(6) 選定ロゴマーク



選定事業 内閣府
未来技術社会実装事業

5 今後のスケジュール

時 期		実施内容
令和8年度	4月	バス停整備位置の警視庁現地実査 運賃設定に関する意見募集の開始
	5月下旬～ 6月上旬	足立区地域公共交通活性化協議会地域公共交通分科会・運賃分科会の開催及び運行計画・運賃設定の決定
	夏頃	各種交付金・補助金への応募及び申請 実証実験に関する協定締結 運行の認可手続き
	秋頃	運行ルートの3Dマップ作成 ドライバーの訓練 試験走行の開始
	冬頃	自動運転バス実証実験開始

令和 8 年 3 月 23 日
内閣府地方創生推進事務局

未来技術社会実装事業（令和 8 年度） 選定事業一覧

No.	選定者	タイトル	主な活用技術
1	北海道 わっかないし 稚内市	自動運転の実装による「安心・快適・クリーン」なまちづくりの実現	自動運転
2	千葉県 そでがうらし 袖ヶ浦市	「想像を超える」袖ヶ浦市のみらいモビリティ ～自動運転社会実装推進プロジェクト～	自動運転
3	東京都 あだちく 足立区	「持続可能な公共交通を実現する未来都市・あだち」へ向けた 自動運転実装事業	自動運転
4	東京都 はちおうじし 八王子市	産官学共創による「八王子市地域未来戦略」	自動運転
5	神奈川県 よこはまし 横浜市	生成 AI を活用した自治体相談サービス「よこはまランタン」の 全国展開モデル構築事業－医療分野における信頼性担保型 AI 社会実装－	AI
6	神奈川県 さがみはらし 相模原市	自動運転バスの導入により、既存バス路線の代替と運転士不足の解消を 図るとともに、住み続けたいくなる「選ばれるまち」を実現する。	自動運転
7	静岡県	静岡県次世代エアモビリティ社会実装プロジェクト	次世代 エアモビリティ
8	静岡県 ふくろいし 袋井市	行動データを活用した要介護認定プロセスのデジタル化	AI
9	愛知県 ひがしうらちょう 東浦町	交通空白地域の解消と共助交通の未来 ～自動運転技術による持続可能な移動サービスの社会実装～	自動運転
10	三重県 よっかいちし 四日市市	中枢中核都市における自動運転バスの導入による中心市街地回遊性向上	自動運転
11	広島県 おのみちし 尾道市	先進技術で尾道の海を次世代へとつなぐ	IoT
12	宮崎県 つのちやう 都農町	次世代モビリティによる活気あるまちづくりを目指す近未来技術実装事業	ドローン

（都道府県・市区町村コード順）

提案タイトル	「持続可能な公共交通を実現する未来都市・あだち」へ向けた自動運転実装事業
提案者	対象区域の概要
東京都足立区	東京23区の最北東に位置する足立区。面積は23区で3番目に広い53.25km ² で、人口は4番目に多い約69.3万人、高齢化率は最も高い24.4%(令和6年1月1日現在)。四方を河川に囲まれ、区内全域に市街地が広がる。

背景・課題

目指す
将来像

- ・コミュニティバス・路線バスの自動運転化による持続可能な交通手段の確保
- ・足立区での先行導入を起点とした東京23区への横展開による運転士不足対策のメリット早期発現

解決すべき
課題

- ・足立区コミュニティバス「はるかぜ」及び区内路線バスにおける深刻な運転士不足
- ・南北方向を主とした鉄道網を補完するバス網の整備及び維持

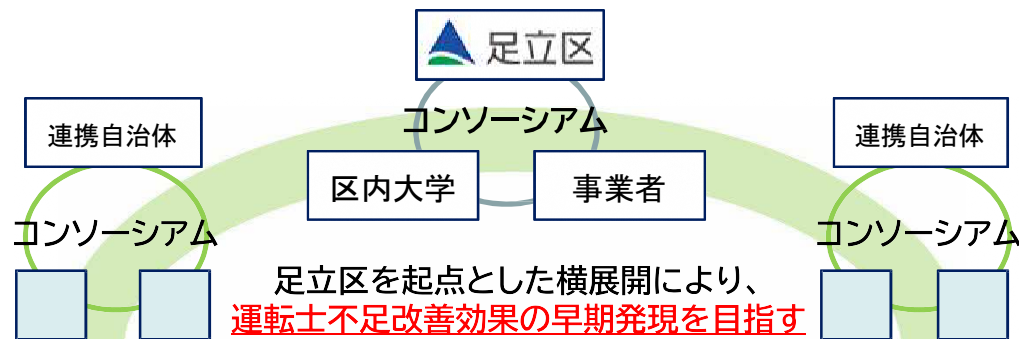
実装を目指す主な事業内容 事業: 自動運転バス

活用技術

事業概要

自動運転

- ・実証運行当初から、路線認可を取得した有償での自動運転バス通運行(レベル2)を開始し、事業性の検証とともに、早期にレベル4自動運転サービスを実装する。
- ・産学官連携によるコンソーシアムを立ち上げ、役割分担しながら社会実装に向けて取組むとともに、他自治体とも連携して持続可能なビジネスモデルの確立を目指す。



想定車両(ティアフォー社製「Minibus20」)

【内閣府】未来技術社会実装事業の概要

概要

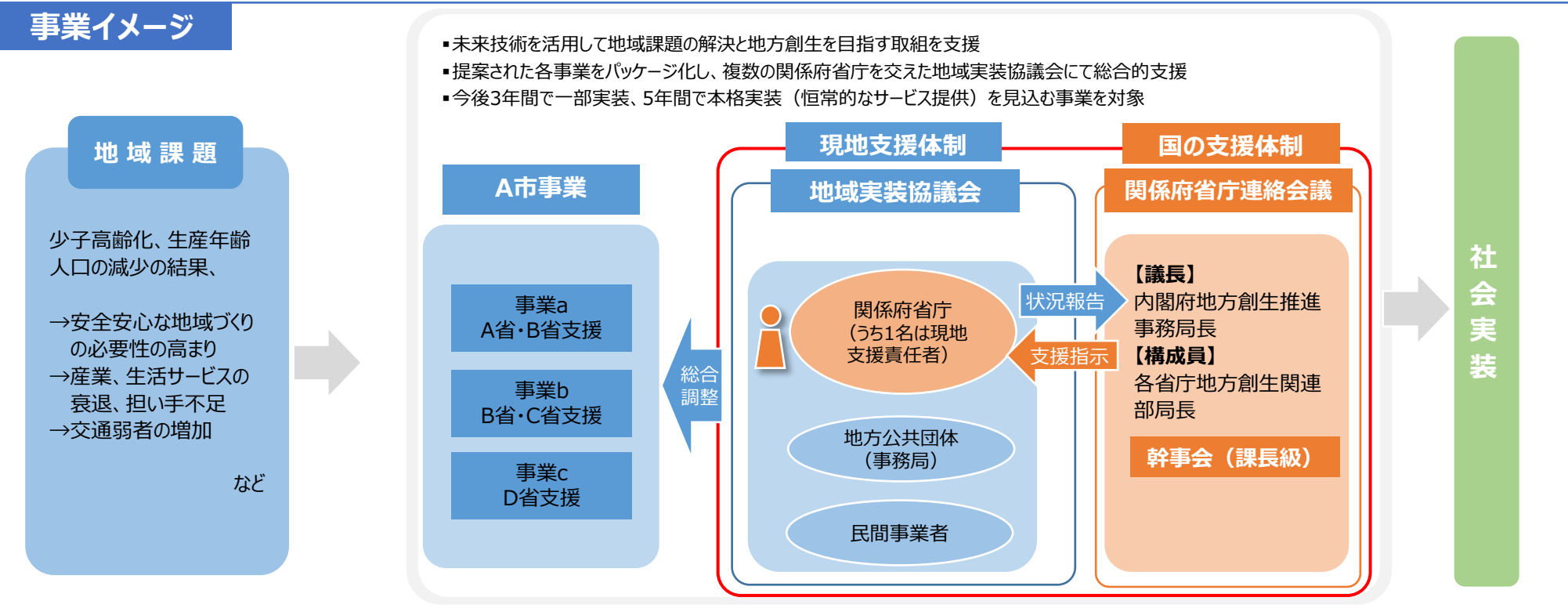
- 未来技術社会実装事業は、「地方創生の基本構想※¹」や「地方創生に関する総合戦略※²」において、地方創生の推進に資する施策として、本事業が組み込まれています。
- 事業の概要としては、AI、IoTや自動運転、ドローン等の未来技術を活用した地域課題の解決と地方創生を目指し、先導性と横展開可能性等に優れた地方公共団体の取組に対して、未来技術の**社会実装に向けた現地支援体制（地域実装協議会）**を構築し、**関係府省庁による総合的な支援を行う事業**です。
- 未来技術を活用した地方創生に関する提案を地方公共団体から募集し、H30年度からR7年度までに合計59事業を選定。**3年間で一部実装、5年間で本格実装を目指し複数年にわたる伴走型支援を行います。R7年時点で13事業※³に対して支援を実施中です。**

※¹ 「地方創生2.0基本構想」（令和7年6月13日閣議決定）

※² 「地方創生に関する総合戦略 ～これまでの地方創生の取組のフォローアップと推進戦略～」（令和7年12月23日閣議決定）

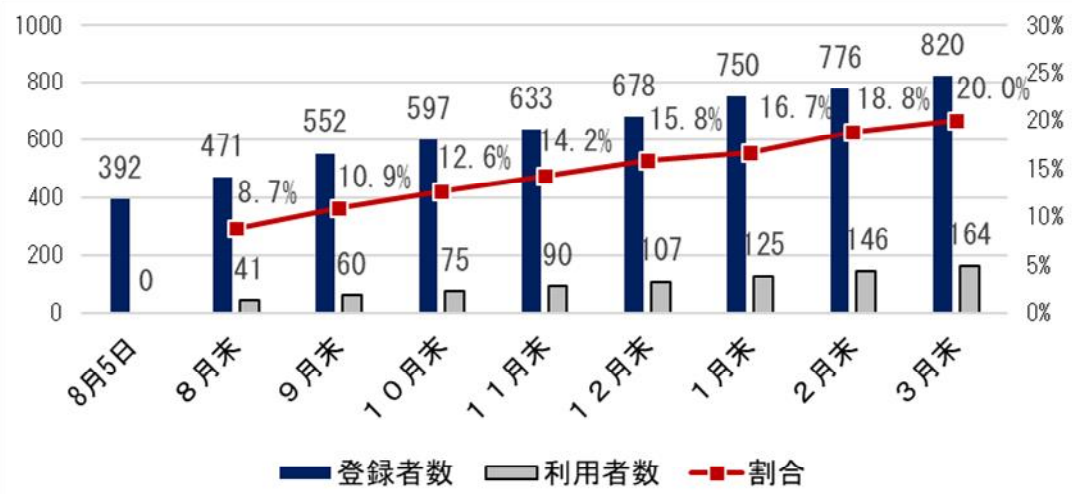
※³ H30年度からR7年度までの選定合計59事業のうち46事業はR6年度末までに支援終了。

事業イメージ



総合交通対策調査特別委員会報告資料

令和8年4月20日

件名	常東地区「チョイソコ×せんじゅ」の取組み状況等について																																																				
所管部課名	交通対策担当部新たな交通担当課 都市建設部交通対策課																																																				
内容	<p>常東地区「チョイソコ×せんじゅ（以下「チョイソコ」という。）」の令和7年8月から令和8年3月末までの利用状況と取組み状況について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 運行概要（令和8年4月時点）</p> <table border="1" data-bbox="414 750 1396 1146"> <thead> <tr> <th colspan="2">概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運行日</td> <td>週3日（火曜日、水曜日、木曜日） ※ 祝日及び年末年始は運休</td> </tr> <tr> <td>運行時間</td> <td>午前8時～午後3時 ※ 正午から午後1時までは昼休憩のため運休</td> </tr> <tr> <td>利用運賃</td> <td>1人200円（未就学児は無料）</td> </tr> <tr> <td>乗降スポット</td> <td>57か所</td> </tr> <tr> <td>事前予約</td> <td>利用したい1週間前から利用日当日の30分前まで</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 登録者数及び利用者の割合（令和8年3月末時点）</p> <p>(1) 登録者数は、実験開始時の2倍を超えた。 (2) 令和8年3月末時点では登録者の約20%の方が利用している。</p> <p style="text-align: center;">登録者数と利用者数（単位：人）</p>  <table border="1" data-bbox="367 1512 1444 2004"> <caption>登録者数と利用者数（単位：人）</caption> <thead> <tr> <th>日付</th> <th>登録者数</th> <th>利用者数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8月5日</td> <td>392</td> <td>0</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>8月末</td> <td>471</td> <td>41</td> <td>8.7%</td> </tr> <tr> <td>9月末</td> <td>552</td> <td>60</td> <td>10.9%</td> </tr> <tr> <td>10月末</td> <td>597</td> <td>75</td> <td>12.6%</td> </tr> <tr> <td>11月末</td> <td>633</td> <td>90</td> <td>14.2%</td> </tr> <tr> <td>12月末</td> <td>678</td> <td>107</td> <td>15.8%</td> </tr> <tr> <td>1月末</td> <td>750</td> <td>125</td> <td>16.7%</td> </tr> <tr> <td>2月末</td> <td>776</td> <td>146</td> <td>18.8%</td> </tr> <tr> <td>3月末</td> <td>820</td> <td>164</td> <td>20.0%</td> </tr> </tbody> </table>	概要		運行日	週3日（火曜日、水曜日、木曜日） ※ 祝日及び年末年始は運休	運行時間	午前8時～午後3時 ※ 正午から午後1時までは昼休憩のため運休	利用運賃	1人200円（未就学児は無料）	乗降スポット	57か所	事前予約	利用したい1週間前から利用日当日の30分前まで	日付	登録者数	利用者数	割合	8月5日	392	0	0%	8月末	471	41	8.7%	9月末	552	60	10.9%	10月末	597	75	12.6%	11月末	633	90	14.2%	12月末	678	107	15.8%	1月末	750	125	16.7%	2月末	776	146	18.8%	3月末	820	164	20.0%
概要																																																					
運行日	週3日（火曜日、水曜日、木曜日） ※ 祝日及び年末年始は運休																																																				
運行時間	午前8時～午後3時 ※ 正午から午後1時までは昼休憩のため運休																																																				
利用運賃	1人200円（未就学児は無料）																																																				
乗降スポット	57か所																																																				
事前予約	利用したい1週間前から利用日当日の30分前まで																																																				
日付	登録者数	利用者数	割合																																																		
8月5日	392	0	0%																																																		
8月末	471	41	8.7%																																																		
9月末	552	60	10.9%																																																		
10月末	597	75	12.6%																																																		
11月末	633	90	14.2%																																																		
12月末	678	107	15.8%																																																		
1月末	750	125	16.7%																																																		
2月末	776	146	18.8%																																																		
3月末	820	164	20.0%																																																		

3 利用件数と利用1件当たりの区負担額（令和8年3月末時点）

- (1) 令和8年3月の利用1件当たりの区負担額は1,745円となっており、2か月連続で千円台となった。
- (2) 3か月のプレ期間（8月～10月）以降は、2,000円前後で推移しており、実証実験を継続するための基準（継続運行基準）である、「利用1件当たりの区負担額おおむね1,600円から3,000円」の間で推移している。



4 4者合同調整会議の開催

令和8年3月17日に、地域協議会、運行事業者（3社）、システム会社、足立区の4者で、現状の利用実績と課題について打合せを行った。

主な意見	今後の方針
登録者数、利用者数ともに伸びていることから、実証実験を再度延長する方向で進めていきたい。	おおむね合意。関東運輸局など関係機関との協議を進めていく。
約150名の方が利用している一方で、約650名はまだ利用していない。その方々に向けた利用啓発を考えていきたい。	まだ利用していない方や、継続的に利用してもらえるよう効果的な利用促進策の実施を検討していく。
地域の中では、運行時間や曜日を増やしてほしいとの意見が挙がっている。	運行時間等の運行計画を見直す前提で、引き続き運行事業者と協議をしていく。
協賛企業をスライド動画で紹介するなど、協賛者にもメリットになるようなメニューを追加していきたい。	スライド動画は「広告」となるため、募集に必要な要綱や掲載基準、広告審査体制の整備をし、令和8年夏頃を目途に運用が開始できるよう準備を進めていく。

5 寄附・協賛金の募集状況

令和7年12月から寄附金・協賛金プランの運用を開始し、地域協議会や関連する町会・自治会と募集活動を行っている。令和8年3月末時点の申込者数等は以下のとおり。



申込者数と申込みのあった金額

	寄附金	協賛金	合計
申込者数	2者	8者	9者※
金額	20,000円	425,000円	445,000円

※ 寄附金・協賛金ともに申込みいただいた企業有り

総合交通対策調査特別委員会報告資料

令和8年4月20日

件名	花畑地区「花畑ぐるりん」の取組み状況等について						
所管部課名	交通対策担当部新たな交通担当課 都市建設部交通対策課						
内容	<p>令和7年10月20日（月）より実証実験を開始した花畑地区の地域内交通「花畑ぐるりん」の取組み状況について、以下のとおり報告する。</p> <p>1 運行方法等の見直しについて</p> <p>(1) 停留所及び運行ルートの変更について</p> <p>ア 変更内容 令和8年5月7日より、停留所⑰「ベルクス前」の下り停留所を変更し、ベルクスに隣接している東武バスセントラルのバス停「花畑五丁目」を共同で利用する。</p> <p>イ 変更理由 地元協議会からの要望も踏まえ、特に利用者が多い「ベルクス前」について、買い物帰りの方を中心に利用者の利便性を向上させるため。 【停留所⑰「ベルクス前」】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>変更前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>変更後</p> </div> </div> <p>(2) 運行曜日の変更 花畑ぐるりんの地元周知が進み、2月分までの実績を見ると利用者数も増加傾向にあることから、地元協議会、交通事業者と協議を行い、令和8年5月7日より週5日（月曜日～金曜日）で運行を行う。</p> <table border="1" data-bbox="435 1709 1442 1861"> <thead> <tr> <th></th> <th>見直し前</th> <th>見直し後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運行曜日</td> <td>週4日 (月、火、木、金)</td> <td>週5日 (月、火、水、木、金)</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 運行実績について（運行ルートは別紙参照 P23） 令和7年10月20日から令和8年3月31日までの利用状況は次のとおり。</p>		見直し前	見直し後	運行曜日	週4日 (月、火、木、金)	週5日 (月、火、水、木、金)
	見直し前	見直し後					
運行曜日	週4日 (月、火、木、金)	週5日 (月、火、水、木、金)					

(1) 月別の一日平均利用件数

年月	一日平均 利用人数	備考
令和7年 10月	22人	週3日(月・水・金)、車両2台運行
11月	24人	週3日(月・水・金)、車両2台運行
12月	19人	週3日(月・水・金)、車両2台運行
令和8年 1月	24人	週3日(月・水・金)、車両2台運行 ※ 運行ダイヤ変更
2月	26人	週4日(月、火、木、金)、車両1台運行 ※ 運行ダイヤ変更
3月	23人	週4日(月、火、木、金)、車両1台運行

(2) 便別の平均利用件数

ア 10月から1月までの平均利用件数(週3日、車両2台運行)

【花畑区民事務所方面行】

	平均利用人数		全体割合
1便	0.49		3.7%
2便	1.36		10.4%
3便	0.92		7.1%
4便	2.82		21.6%
5便	1.82		13.9%
6便	2.05		15.7%
7便	2.56		19.6%
8便	0.74		5.7%
9便	0.31		2.4%

【花畑八丁目アパート前方面行】

	平均利用人数		全体割合
1便	0.67		7.0%
2便	0.64		6.7%
3便	1.03		10.8%
4便	0.85		8.9%
5便	1.36		14.3%
6便	0.46		4.9%
7便	1.62		17.0%
8便	1.54		16.2%
9便	1.36		14.3%

イ 2月から3月までの平均利用件数（週4日、車両1台運行）

【花畑区民事務所方面行】

	平均利用件数		全体割合
1便	0.75		5.7%
2便	1.56		11.9%
3便	3.41		25.9%
4便	2.50		19.0%
5便	1.56		11.9%
6便	1.97		15.0%
7便	1.41		10.7%

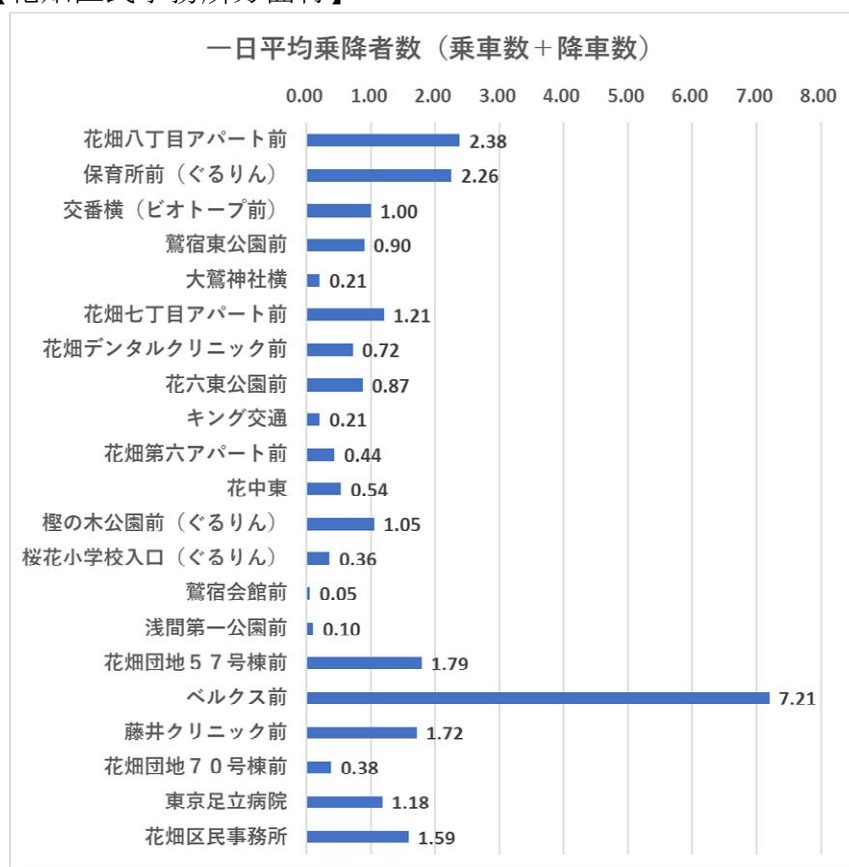
【花畑八丁目アパート前方面行】

	平均利用件数		全体割合
1便	1.00		8.3%
2便	2.03		16.9%
3便	2.53		21.0%
4便	2.50		20.8%
5便	1.22		10.1%
6便	1.59		13.2%
7便	1.16		9.6%

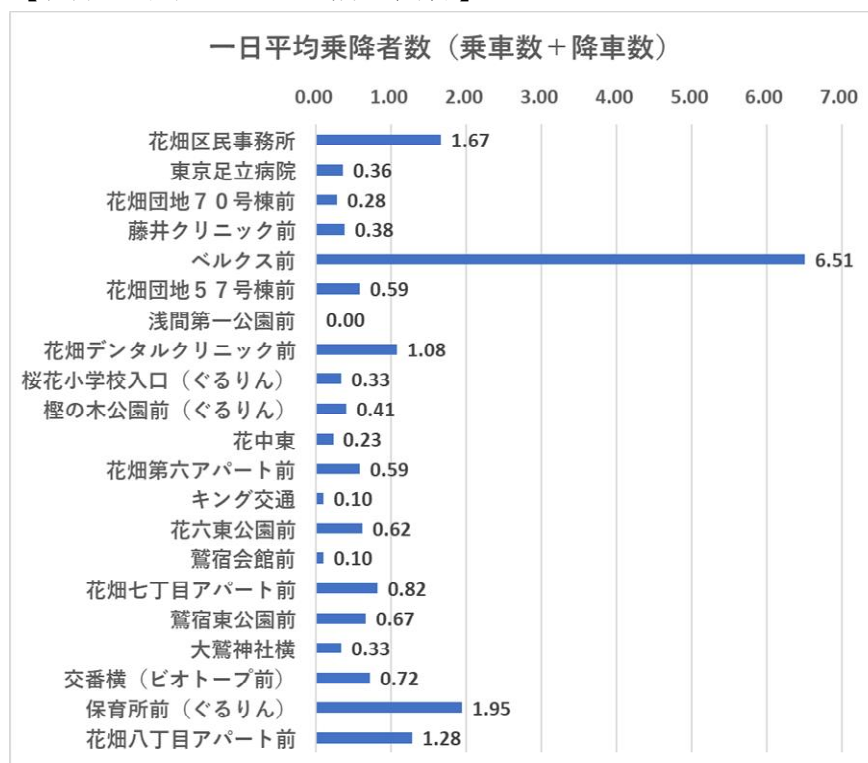
(3) 停留所別の平均利用件数

ア 10月から1月までの平均利用件数（週3日、車両2台運行）

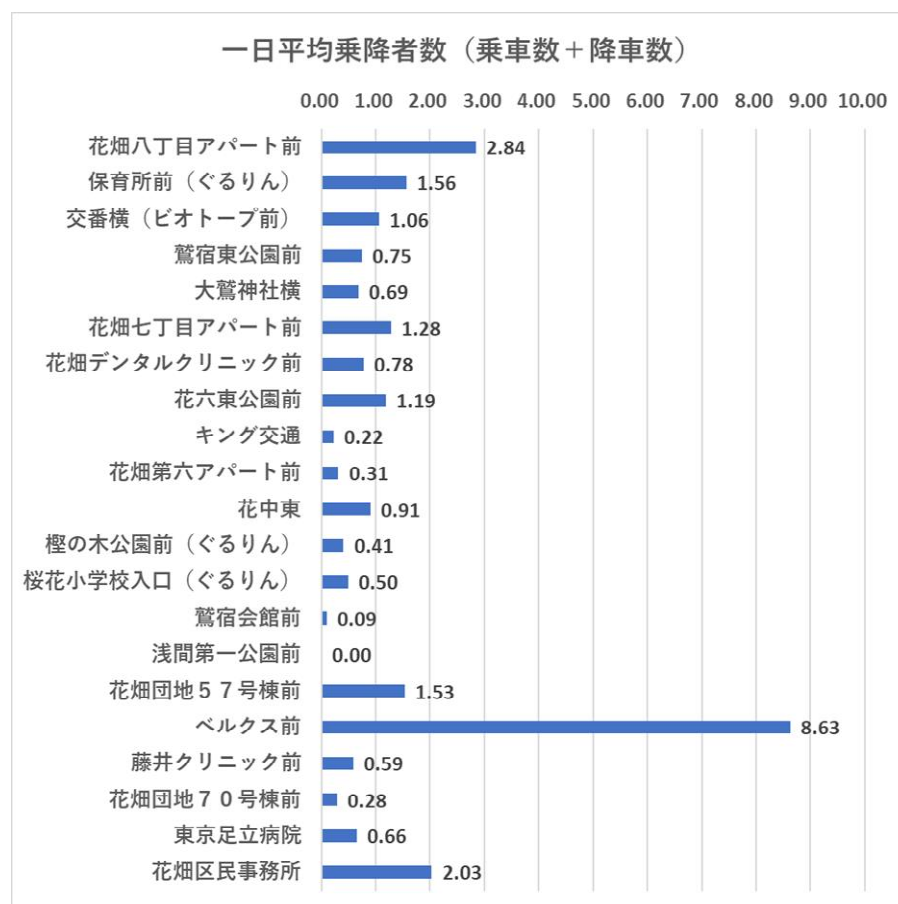
【花畑区民事務所方面行】



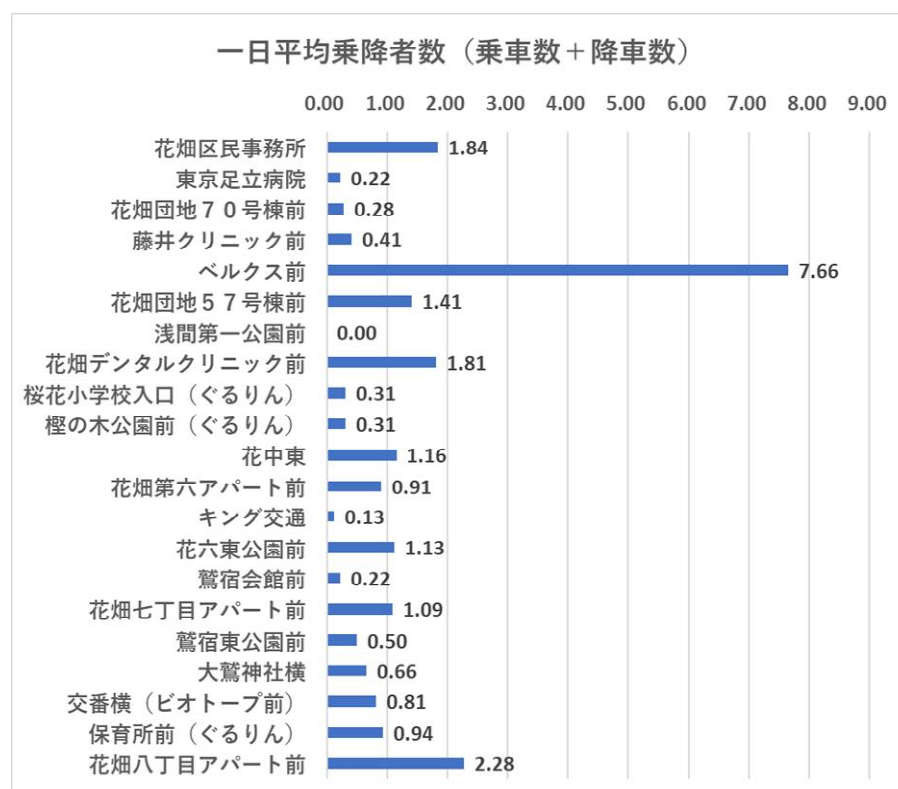
【花畑八丁目アパート前方面行】



イ 2月から3月までの平均利用件数（週4日、車両1台運行）
【花畑区民事務所方面行】



【花畑八丁目アパート前方面行】



3 今後の方針

令和8年5月7日の運行方法見直し後の利用実績などを注視しつつ、令和8年9月30日までとなっている実証実験のその後の方向性について、期間の延長も含め、地元協議会や交通事業者と検討を進めていく。

花畑ぐるりん 運行ルート

※花畑地域内の交通ニュースより抜粋

別紙

